

日本耳鼻咽喉科学会会員への調査結果

～在宅医療に対する意識調査 取り組み・取り組む意思の検討～

日本耳鼻咽喉科学会 地域医療委員会

目的

在宅医療の推進が求められる中、耳鼻咽喉科ではまだ十分にその役割を果たしているとは言い難い状況にある。今後、在宅医療に取り組む耳鼻咽喉科医が増えるための糸口を探し、対策を講じる事は重要であり、先ずは耳鼻咽喉科医が在宅医療にどのような意識を抱いているのかを調査する事も必要と考えられる。

日本耳鼻咽喉科学会地域医療委員会にて、令和元年度に日本耳鼻咽喉科学会会員に対し施行したWebアンケートの結果より、耳鼻咽喉科医の在宅医療に対する取り組み及び取り組む意思について、各カテゴリーにおいてどのような傾向を認めるのかにつき検討を行った。

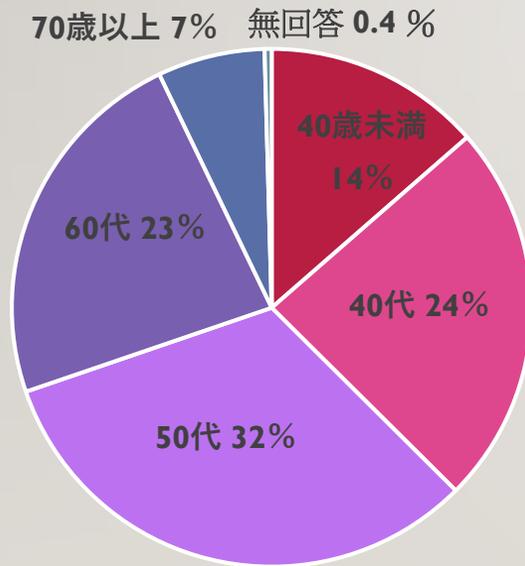
アンケート依頼数 9305名

回答数 2965名

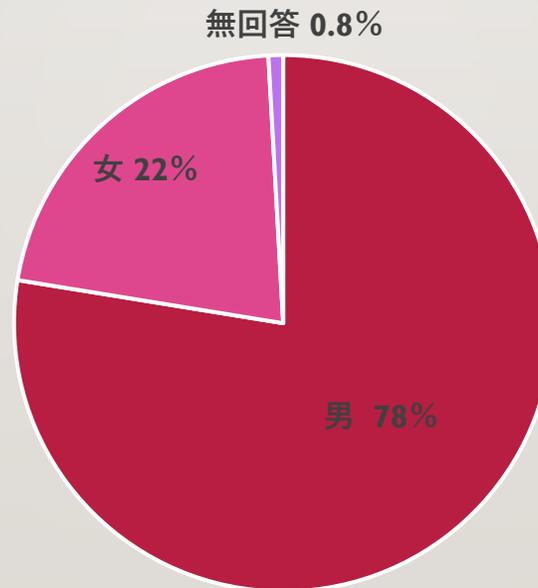
回収率 31.9%

回答者

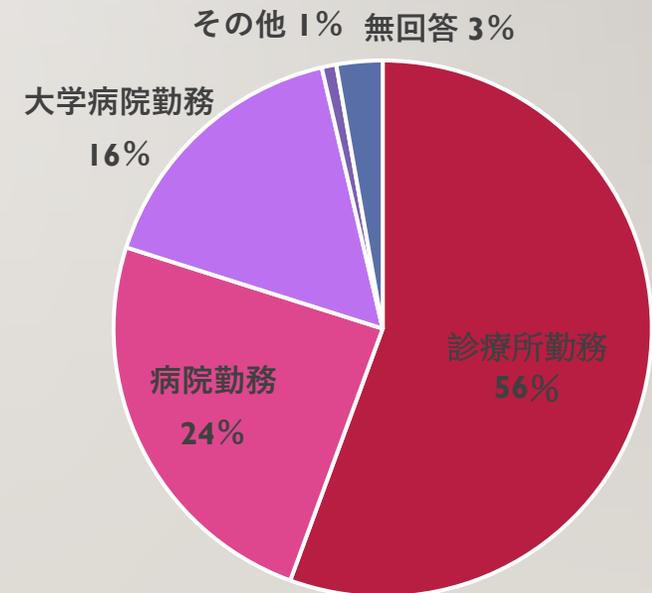
年齢別



性別

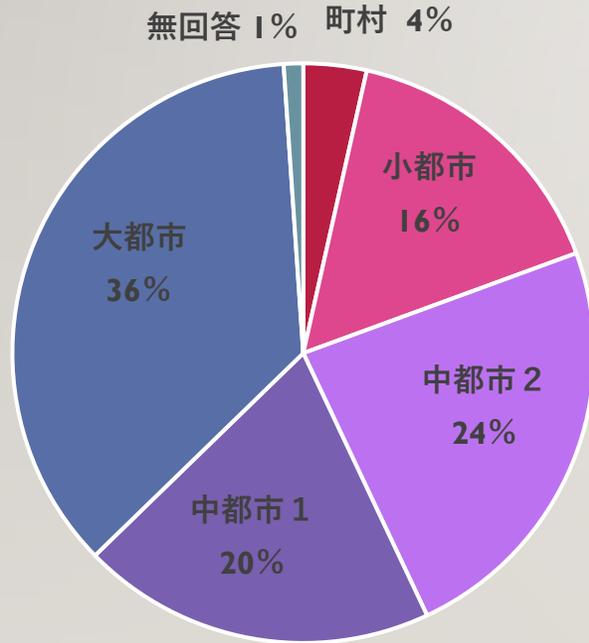


勤務形態別

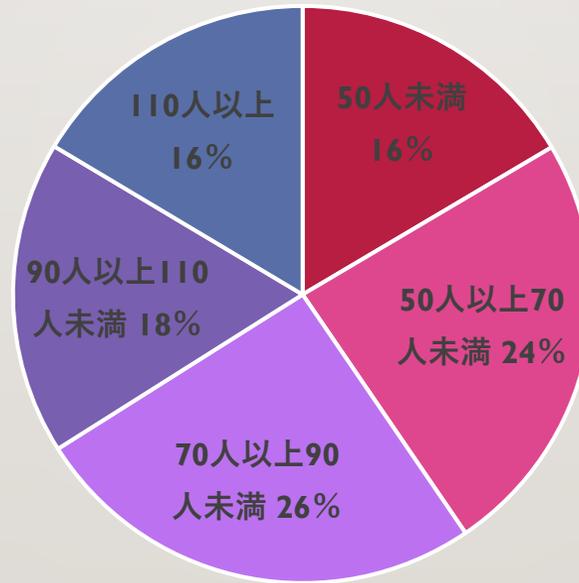


回答者

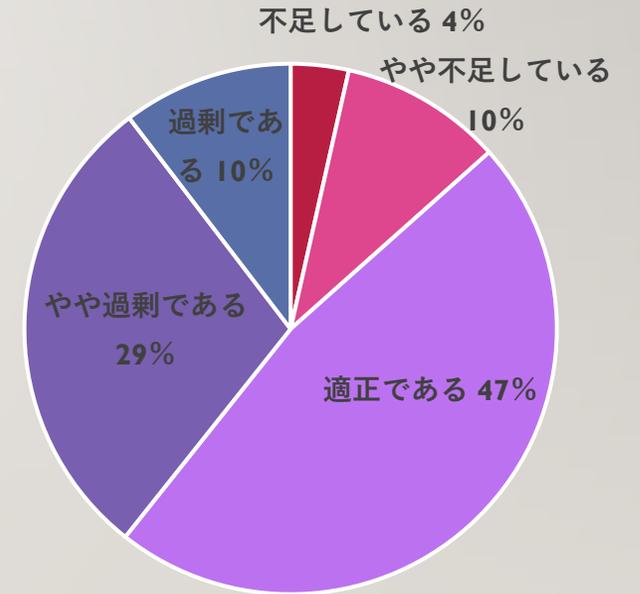
都市の規模別



一日あたりの平均患者数別 (診療所勤務) n=1645



近隣の耳鼻咽喉科医数についての意識調査別 (診療所勤務) n=1650



検定方法

在宅医療の取り組み

「在宅医療を行っている」と回答された割合

在宅医療に取り組む意思

在宅医療はまだ行っていないが、「積極的に始めたい」
及び「依頼があれば行いたい」と回答された割合

上記に対し、性別はカイ二乗検定を行い、

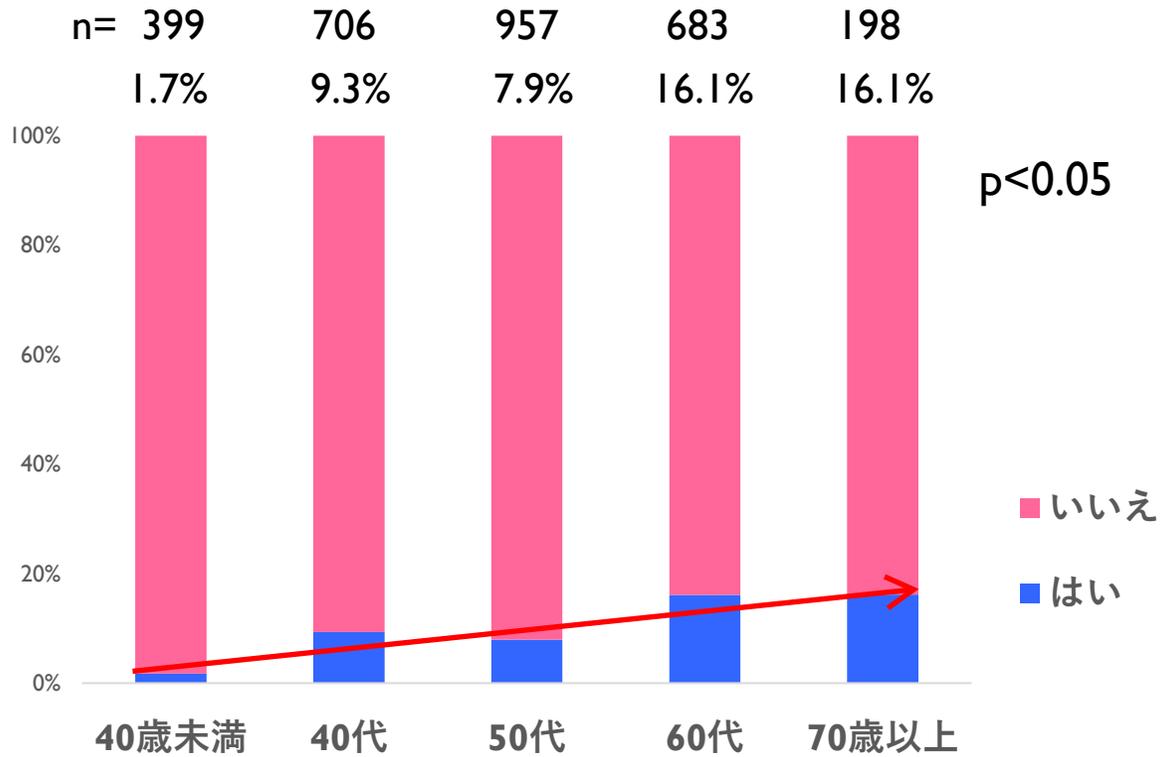
年齢別、勤務形態別、都市の規模別、一日あたりの平均患者数別、

近隣の耳鼻咽喉科医数についての意識調査別では、3群間以上での傾向を調べる

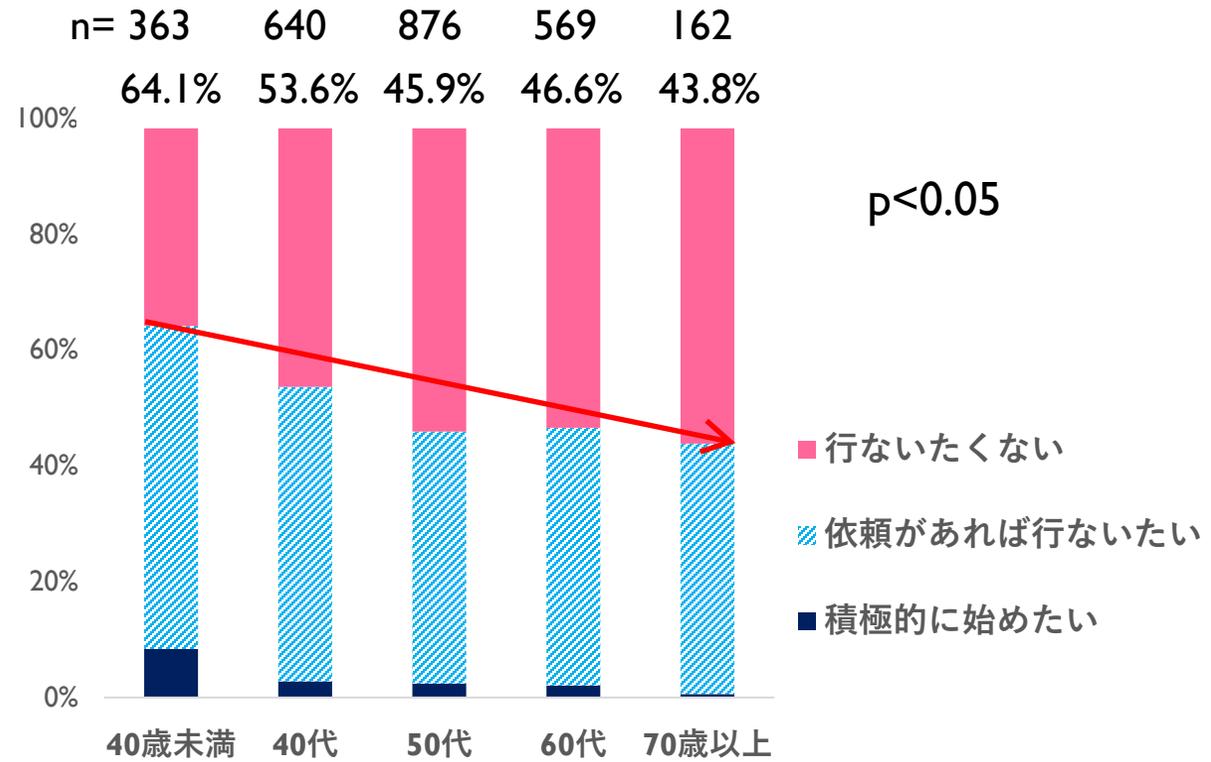
目的にてCochran-Armitage 検定を行い、5%を有意水準とした。

年齢別

在宅医療の取り組み



在宅医療に取り組む意思



性別

在宅医療の取り組み

n= 2293
11.1%

638
5.8%

p<0.05

- いいえ
- はい

男

女

在宅医療に取り組む意思

n= 2032
48.9%

596
55.7%

p<0.05

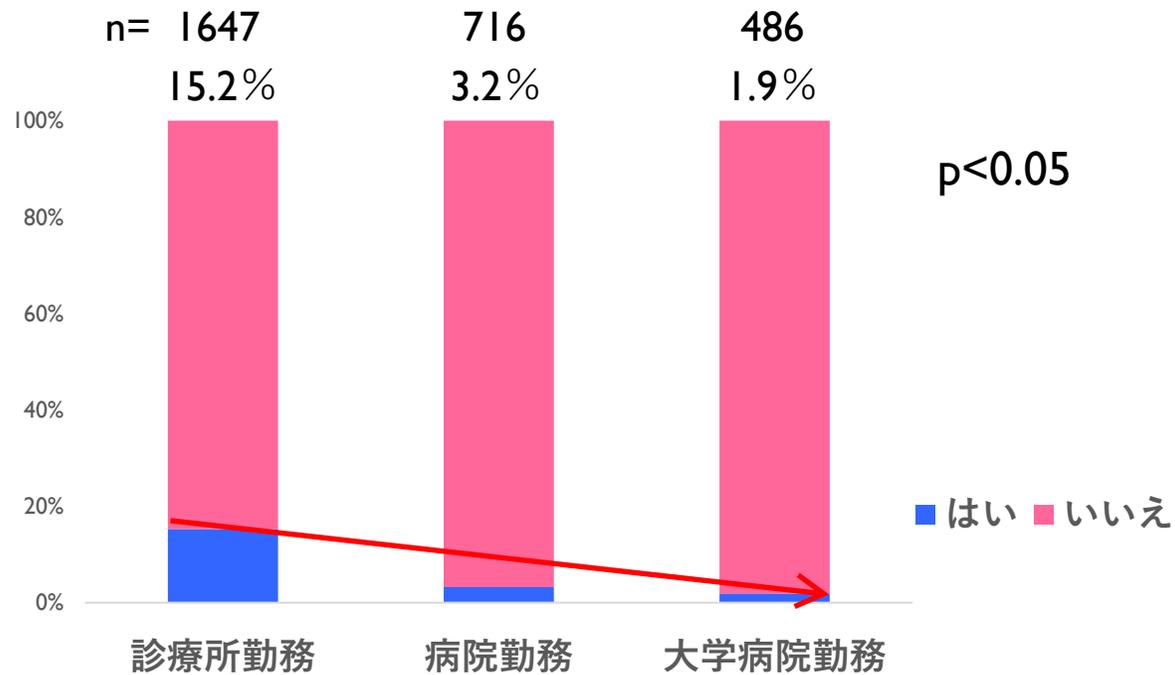
- 行ないたくない
- 依頼があれば行ないたい
- 積極的に始めたい

男

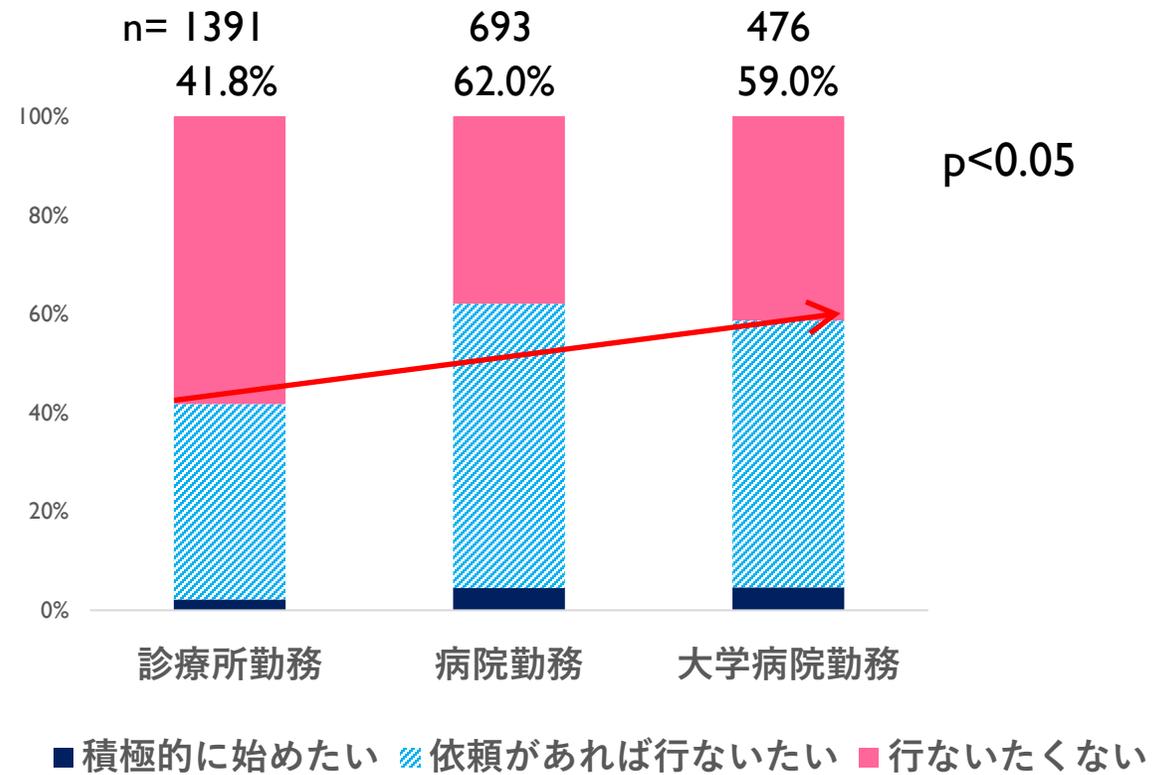
女

勤務形態別

在宅医療の取り組み

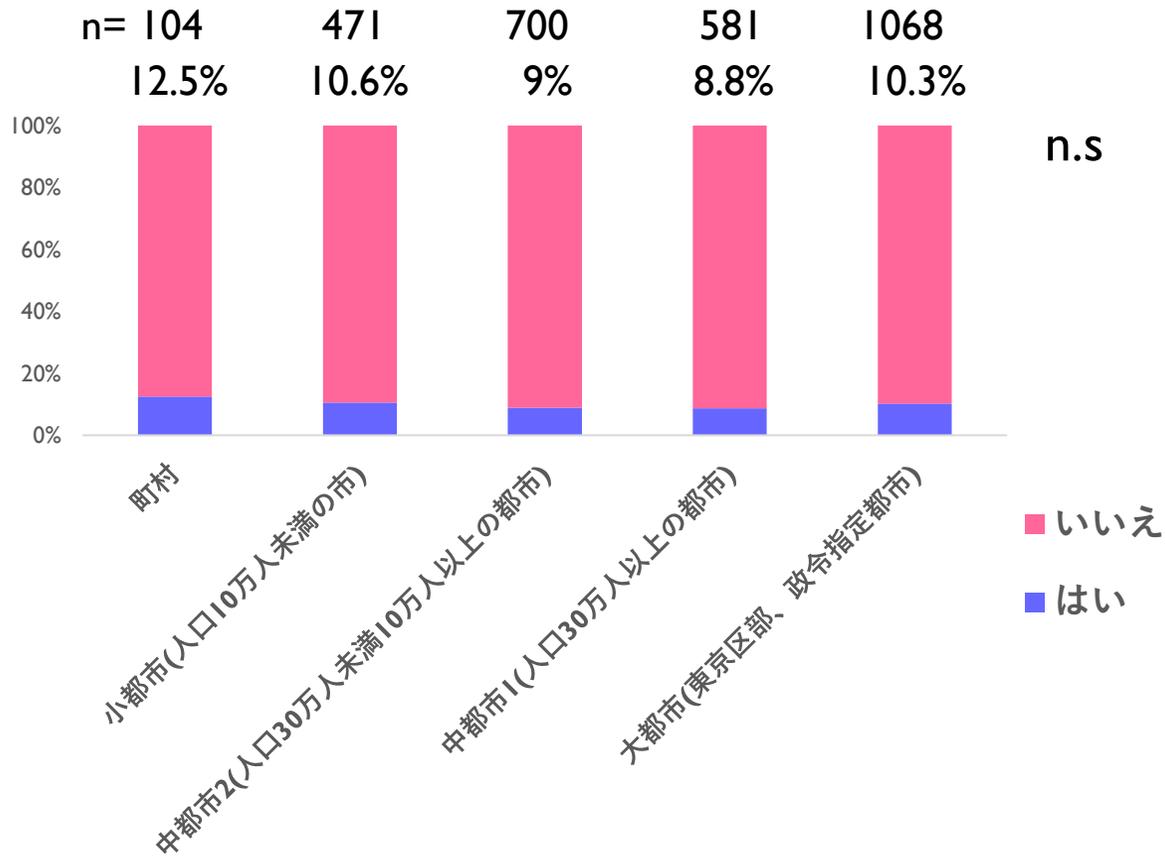


在宅医療に取り組む意思

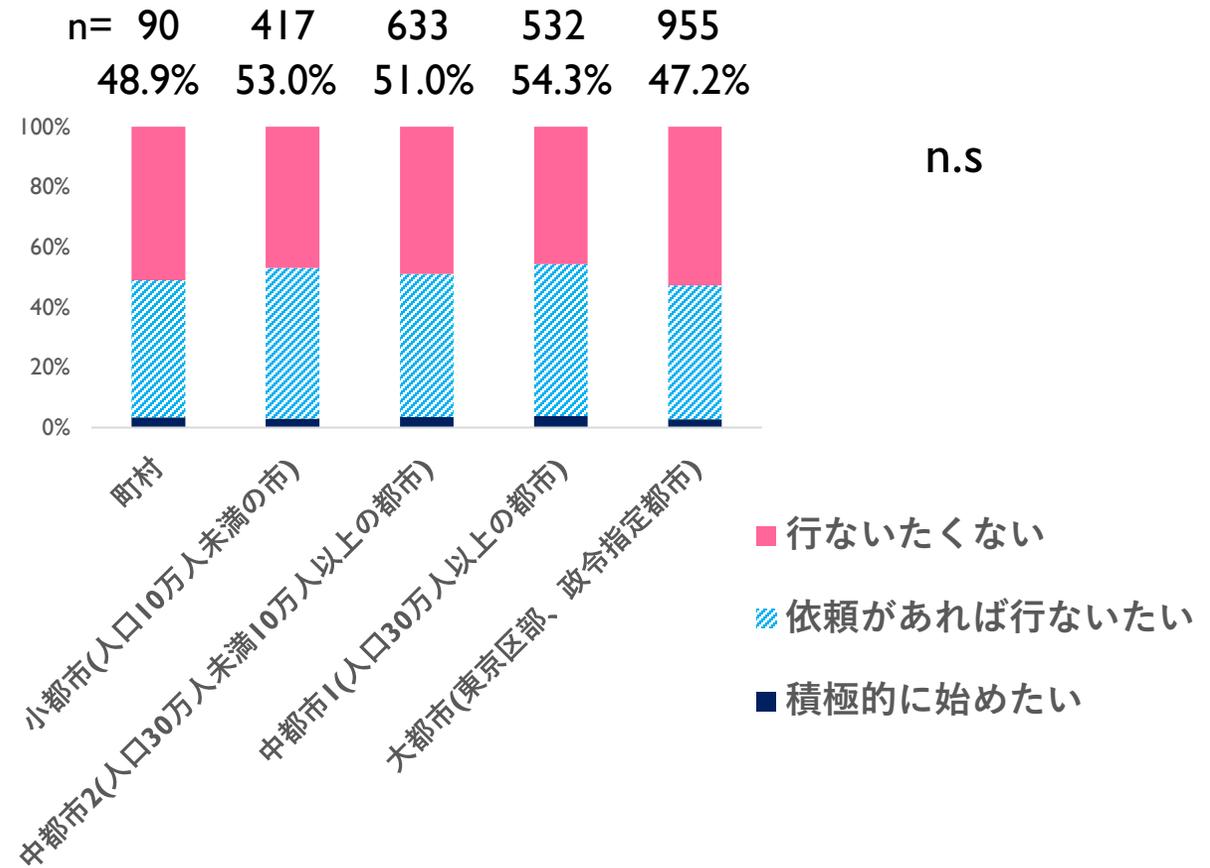


都市の規模別

在宅医療の取り組み

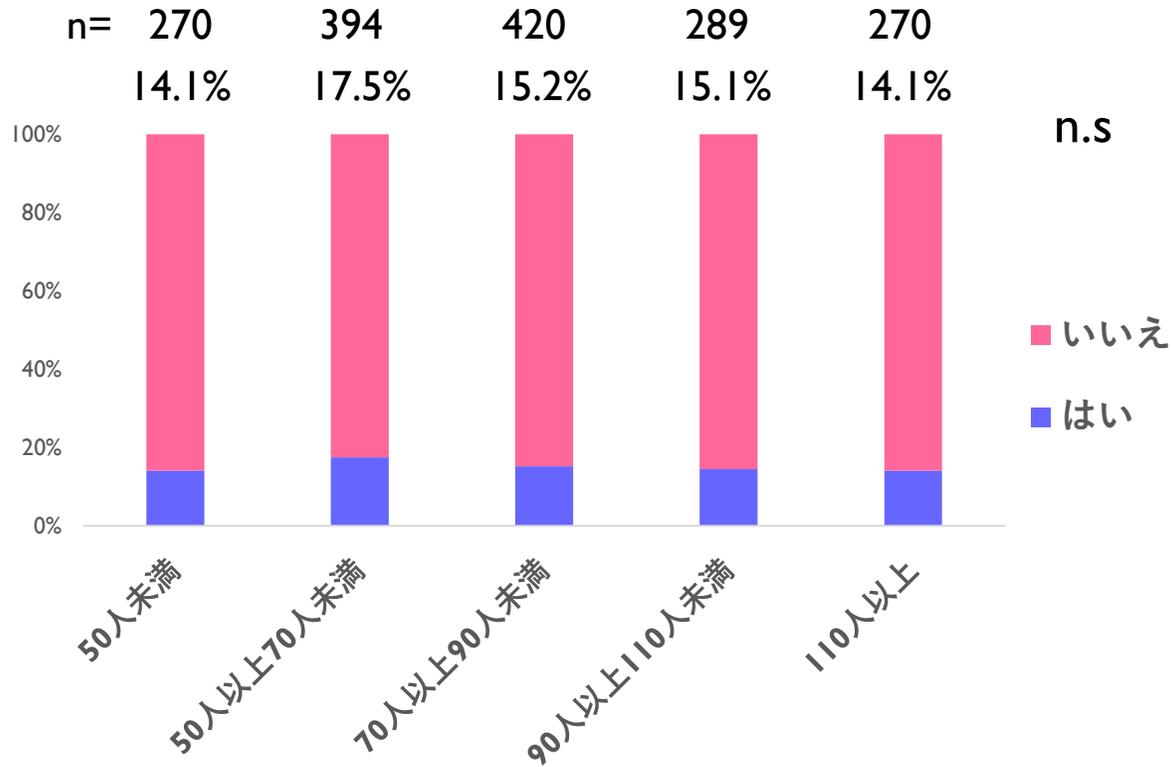


在宅医療に取り組む意思

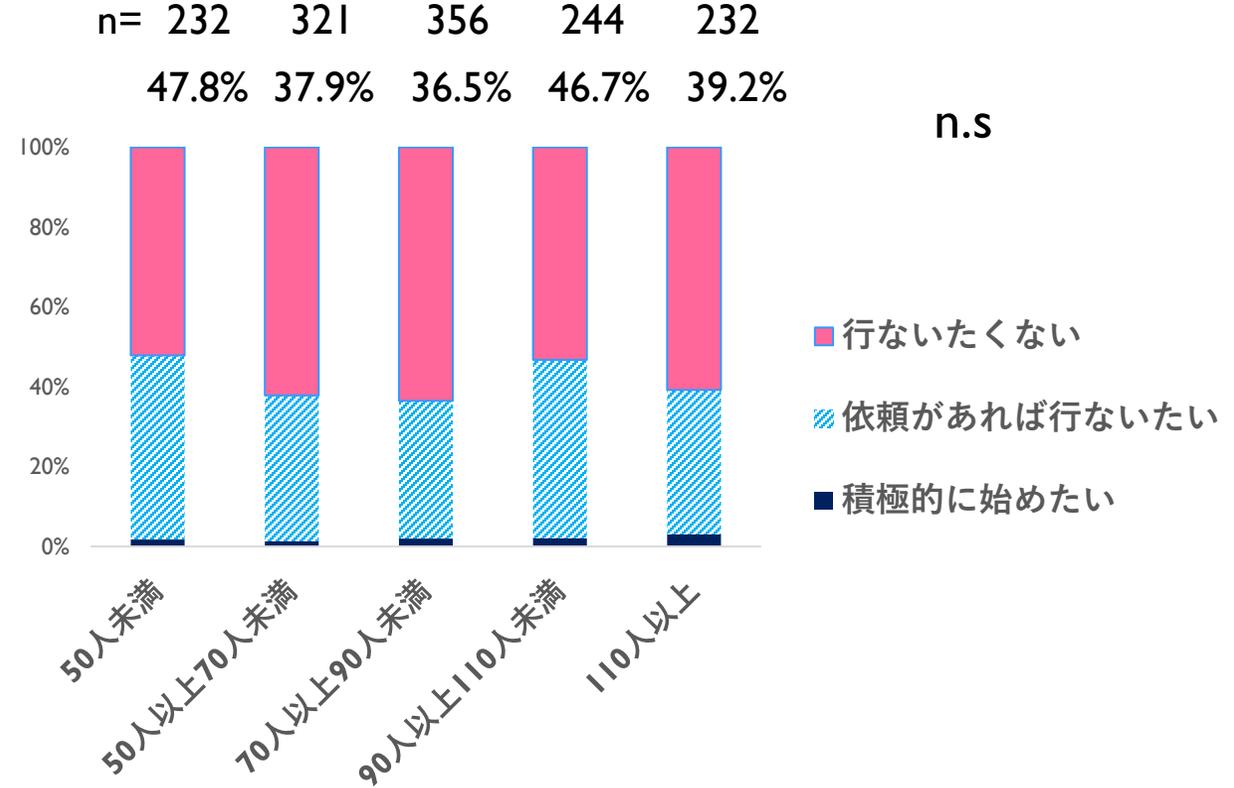


一日あたりの平均患者数別

在宅医療の取り組み

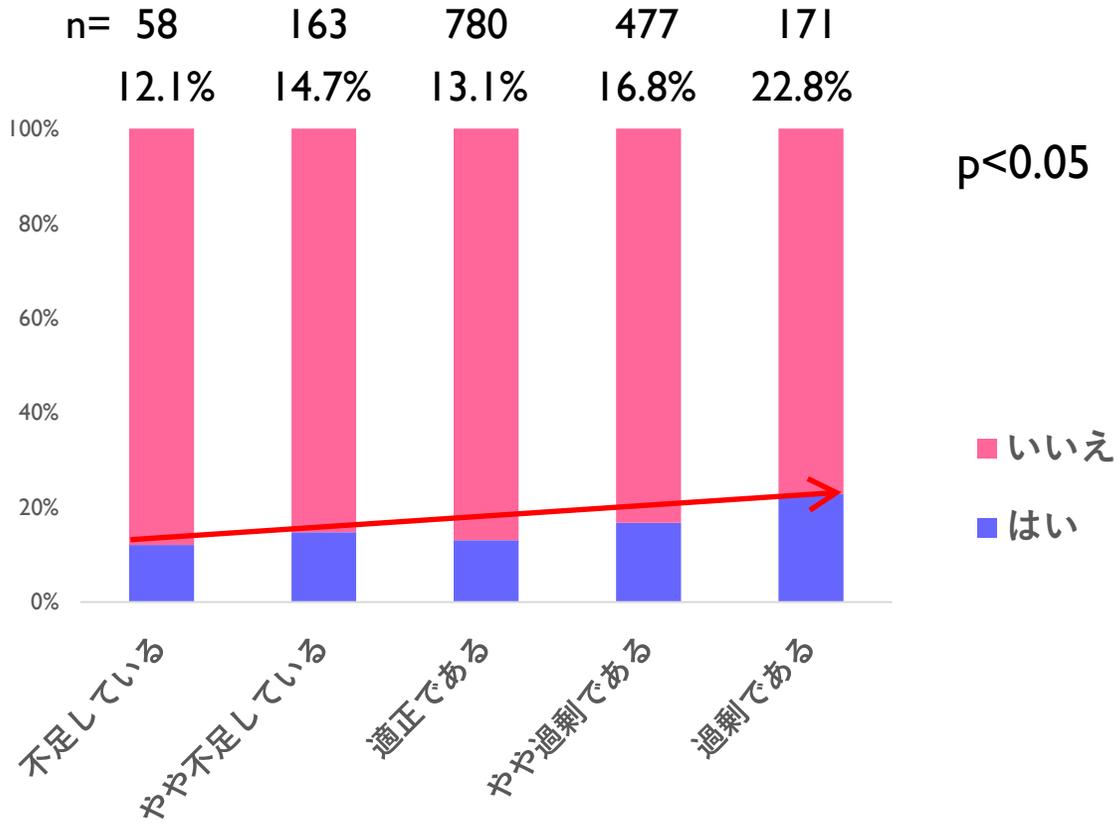


在宅医療に取り組む意思

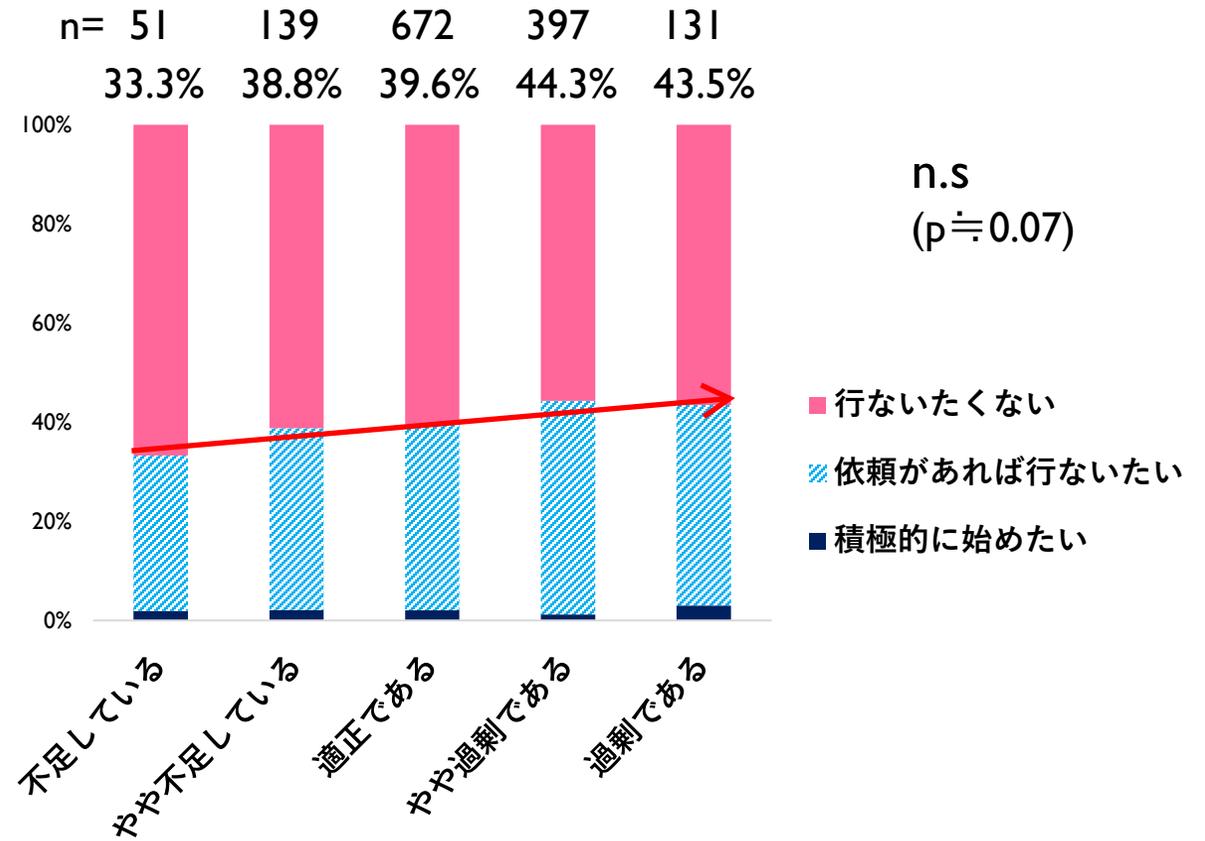


近隣の耳鼻咽喉科医数についての意識調査別

在宅医療の取り組み



在宅医療に取り組む意思



結語

- ・ 日耳鼻地域医療委員会で実施した会員向けWebアンケートの結果より、在宅医療の取り組み及び取り組む意思に關与すると考えられる要因につき解析した。
- ・ 年齢別では、取り組む割合は年齢が高くなるにつれ有意に高くなる傾向を示し、取り組む意思は年齢が低くなるにつれ有意に高くなる傾向を示した。
- ・ 性別では、取り組みは男性で有意に高く、取り組む意思は女性で有意に高い結果を示した。
- ・ 勤務形態別では、取り組みは勤務先の規模が大きくなるにつれ有意に低い傾向を示し、取り組む意思は診療所勤務で有意に低い傾向を示した。
- ・ 都市の規模別では、取り組み、取り組む意思とも有意な傾向を示さなかった。
- ・ 一日あたりの平均患者数別では、取り組み、取り組む意思とも有意な傾向を示さなかった。
- ・ 近隣の耳鼻咽喉科医数についての意識調査別では、取り組みは過剰と感じる傾向が高まるにつれ有意に高くなる傾向を示し、取り組む意思は有意差は見られなかったが高くなる傾向を示した。